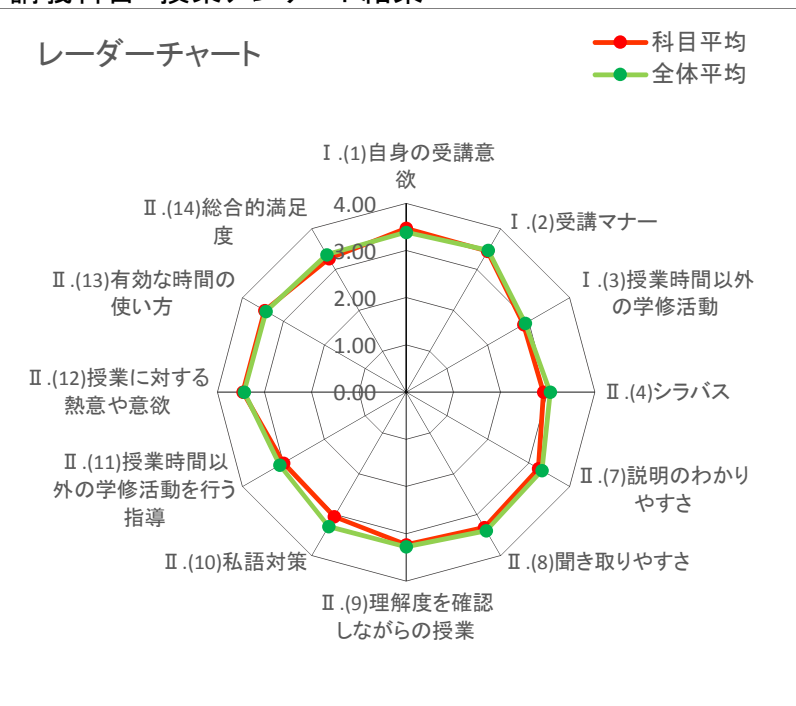
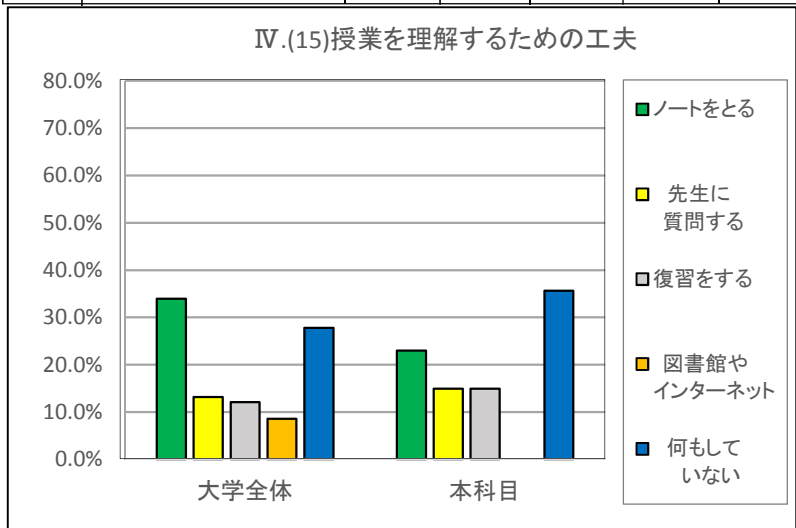


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

| 〈※複数選択可項目〉 | ノートをとる | 先生に質問する | 復習をする | 図書館やインターネット | 何もしていない |
|----------------------|--------|---------|-------|-------------|---------|
| IV.(15) 授業を理解するための工夫 | 23.0% | 14.9% | 14.9% | 0.0% | 35.6% |



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

| | |
|-------|-----------|
| 授業年度 | 2014年度 後期 |
| 時間割番号 | 52104 |
| 科目名 | 数の理解 |
| 教員名 | |

①授業計画の達成度について

シラバスに関しては最初の授業の際に説明したり、授業の最後には必ず次時の予告を行ってきたが、十分に徹底していたとは言えないアンケート結果となっている。結局、毎時間シラバスを配付しなければ意識させることは難しいと思われるので、来年度はその方法で試してみる。

また、難易度に関しては、難易度が高いとの回答は全体平均の2.98に対して3.10であり、一方、低いとの回答は全体平均の2.22に対して2.60になっている。このことから、今の難易度を高くしても低くしても結果は今以上に偏ったものになると思われる。

②授業の進め方について

授業の進め方についての項目に関して、全体平均とほぼ同程度の数値になっているが、その中で(10)の私語対策の数値は全体平均との差が最も大きくなっている。授業中は絶えず注意を払ってきたつもりではあったが、100名を超える学生を対象にしていたため気づかずに過ごしてきたところもあったのだと反省している。

来年度は、学生に自覚を持たせて授業に取り組ませるようすることで私語を減らしていくように工夫したい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生の理解を深めたり、興味・関心を持続させたりすることをねらって、プレゼンテーションを多用し、そこにはアニメーションも積極的に取り入れて授業を展開したが、授業形態が従来からの座学の域を出ていなかったと思う。

今後は、アクティブラーニングの形態やICTを積極的に取り入れたりした展開を工夫していきたい。それとともに、学生の学習意欲を高めるための方策についても研究を深めていきたい。

| | 設問No | 科目平均 | 全体平均 |
|---------|---------|------|------|
| 受講姿勢 | I.(1) | 3.47 | 3.39 |
| | I.(2) | 3.45 | 3.47 |
| | I.(3) | 2.87 | 2.91 |
| 受講内容・方法 | II.(4) | 2.91 | 3.05 |
| | II.(5) | | |
| | II.(6) | | |
| | II.(7) | 3.23 | 3.32 |
| | II.(8) | 3.31 | 3.39 |
| | II.(9) | 3.23 | 3.27 |
| | II.(10) | 3.05 | 3.28 |
| | II.(11) | 3.00 | 3.09 |
| | II.(12) | 3.46 | 3.43 |
| | II.(13) | 3.46 | 3.43 |
| 満足度 | II.(14) | 3.26 | 3.36 |

| | 本科目平均 | 全体平均 |
|-------------|-------|------|
| 自身の受講姿勢 | 3.26 | 3.26 |
| I.(1)~(3) | | |
| 講義内容・方法 | 3.21 | 3.28 |
| II.(4)~(13) | | |
| 総合的満足度 | 3.26 | 3.36 |
| III.(14) | | |